

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	森林病虫害等防除事業				事業通番	5213	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林病虫害等防除法
事務事業の概要	森林病虫害等防除法に基づき、保全すべき森林において被害を沈静化させるため駆除・予防する。
対象（誰、何を）	保全すべき森林
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林病虫害による被害木の伐倒くん蒸処理及び保全すべき森林の薬剤防除が実施されている。
成果の考え方	森林病虫害による被害の拡大を防ぎ、被害範囲を最小限に抑える。

【成果指標】	単位
A 被害木の駆除材積	m <sup>3</sup>
B 地上散布実施面積	ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	5,122				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	5,122				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	60				
	78.23				
B	25				
	18.16				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	被害木の駆除材積 78.23 m <sup>3</sup> 地上散布実施面積 18.16 ha
成果	森林病虫害による被害の拡大を抑えることができた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 被害を未然に防ぐことにより良好な森林環境を維持する。
コストの方向性	現状維持	(理由) 未だに被害木が発見されている。拡大は見られないが、継続した事業実施が必要である。
今後の方向性	現状維持	(理由) オオタカの営業時期以外に事業実施が可能か検討するとともに、被害状況を的確に把握し効果的な事業につなげる。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	ペレットストーブ等購入設置事業				事業通番	5237	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町ペレットストーブ等購入設置事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	ペレットストーブや薪ストーブの導入を促進し、木材の有効利用を図る。					
対象（誰、何を）	町内に住所を有し、住居及び事業所を有している者または有する予定の者。					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	木質バイオマスの利活用の意図を理解してもらい、予算の範囲内でペレットストーブ等を設置する。					
成果の考え方	2台以上の購入を目標とする。					
【成果指標】						単位
A 設置台数						台
B -						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	100				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	100				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2				
B	-				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	2台10万円について補助を行った。
成果	ペレットストーブを導入し木材の有効利用を図られた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) ペレットストーブを導入する町民を支援し、木質バイオマスの利活用を推進することが重要である。木質バイオマスの利活用により、林業振興や温暖化防止を目指す。
コストの方向性	現状維持	(理由) 石油価格の高騰だけでなく、趣味を兼ねた暖房として今後もペレットストーブの設置者は増えていくことが見込まれる。
今後の方向性	現状維持	(理由) 林業振興や温暖化防止を図るため、木質バイオマス利用拡大に向けた事業の継続が必要である。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	森林環境交付金事業				事業通番	5240	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	県森林環境税条例、県森林環境基金条例、県森林環境交付金交付要綱、県森林環境交付金事業実施要領
事務事業の概要	森林環境税を原資とし、森林観察教室、木工クラフト教室などの森林環境学習を行う。【補助率：県100%】
対象（誰、何を）	町内小中学校児童生徒
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林の大切さを学ぶ。
成果の考え方	森林の大切さを学ぶことができた児童生徒数を把握するには多大な手間や労力を要するため、森林環境学習開催回数、森林環境学習参加人数を成果指標に設定した。
【成果指標】	単位
A 森林環境学習開催回数	回
B 森林環境学習参加人数	人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	4,454				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	4,454				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	30				
	28				
B	1,095				
	737				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	森林の大切さを学習するため、森林環境学習を延べ28回開催し、737人の参加者があった。
成果	森林環境学習により森林に対する理解を深めることができた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 林産物生産機能だけでなく、災害防止や二酸化炭素吸収機能など、森林持つ様々な機能を理解し、その大切さを学ぶことが重要である。
コストの方向性	現状維持	(理由) 森林の大切さや環境問題を学ぶため、継続した事業実施が求められる。
今後の方向性	現状維持	(理由) 森林学習を継続し、多くの児童生徒が環境問題に向き合う機会とする。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	森林資源活用推進事業				事業通番	14693	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業総務費	重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	-					
事務事業の概要	森林資源の活用を進めるため、木質バイオマス資源の熱エネルギーとしての利用を目指す会津地域森林資源活用事業推進協議会と連携を図り、効率的な森林資源の収集運搬システム構築による持続的活用に向けた取組を進める。 【おもな取組】令和3年度は、「豊かな森林づくり事業」として、協議会加盟団体毎に必要な木材貯蔵施設用地の選定を進める。					
対象（誰、何を）	①会津地域森林資源活用推進協議会 ②会津流域林業活性化センター					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①②負担金を支払うことで、当該組織が円滑に事業を実施できる状態にする。					
成果の考え方	当該団体が検討会等を重ねることでより効率的かつ効果的な枠組み構築が図れるよう努める。					
【成果指標】						単位
A 各団体の主催事業実施回数						回
B 木材生産量						m <sup>3</sup>

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	245				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	245				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	10				
	2				
B	6,143				
	10,723				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	①新型コロナウイルスの関係もあり、現地視察1回のみ活動となった。 ②新型コロナウイルスの関係もあり、検討会1回のみ活動となった。
成果	検討会の開催が1回のみだったため、今後の森林資源活用に係るより具体的な議論を行うことはできなかったが、現地視察を通して今後の森林資源活用の新たな手段について情報収集をすることができ、今後の検討・議論の更なる活性化が見込まれる。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 森林資源の活用に関して、更に成果が上がるよう方策の検討や議論を行い、効率的かつ効果的な枠組みの構築が図れるよう努める必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 協議会等への負担金が主となるため、コストは現状維持となる。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 検討会などで更に森林資源活用に関する議論を重ねることにより、他市町村と連携した効率的なシステム構築を目指していく必要がある。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	ふくしま森林再生事業				事業通番	15009	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	令和7年度	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	ふくしま森林再生事業補助金交付要綱 ふくしま森林再生事業実施要領					
事務事業の概要	福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備、表土流出防止対策等の放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減、拡散防止を図る。					
対象（誰、何を）	放射性物質拡散の影響で森林整備が停滞している森林					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	森林整備が行われ手入れの行き届いた森林となる					
成果の考え方	適切な手入れが行われている森林が増加することにより、主伐の際により良質な木材が搬出されることによる森林資源の更なる有効活用を図る。					
【成果指標】						単位
A 年度別計画作成面積						ha
B 森林整備施業面積						ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	137,714				
国庫支出金					
県支出金	109,331				
地方債					
その他					
一般財源	28,383				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	20				
	30.14				
B	10				
	11.95				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮川字胡桃地内外において30.14haの年度別計画を作成した。</li> <li>氷玉字屋敷入山地内外において11.95haの森林整備を実施した</li> </ul>
成果	計画に基づき適切な手入れが行われている森林が増加し、来るべき主伐時の効率的な施業に向けた成果を残すことができた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) ふくしま森林再生事業の全体計画に基づき森林整備を行い森林の有する多面的機能の維持と森林の再生を進め、安定した成果を挙げることを目指す必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 令和7年度のふくしま森林再生事業終了に向け、全体計画に基づき適切な投資を行う必要がある。
今後の方向性	現状維持	(理由) ふくしま森林再生事業の全体計画に基づき、令和7年度の事業終了に向け継続して森林整備を行う必要がある。また、令和8年度以降については、森林経営管理制度などの制度を活用し森林整備を推進することとする。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	特用林産物振興支援事業				事業通番	15334
					開始年度	平成30年度
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	
	項	林業費		目	林業振興費	
					担当係名	農林土木係
					重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町特用林産物振興支援事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	林業振興を図るため、特用林産物栽培に対する新規又は規模拡大にかかる機械設備や資材等の導入を支援する。 【おもな取組】令和3年度は、上記支援に加え、生産量拡大の障害となっている問題解決に向け、関係機関との調整を進める。					
対象（誰、何を）	町内の特用林産物生産者					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	新規生産や規模拡大に取り組みやすくなる。					
成果の考え方	特用林産物生産量が増加する。					
【成果指標】					単位	
A	生しいたけの生産量					kg
B	-					-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	200				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	200				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	48,000				
	37,385				
B	-				
	-				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	特用林産物の栽培に取り組む2人の農林業者に対して200,000円の補助金を交付した。
成果	補助金を活用し栽培に取り組むことで特用林産物生産量が増加した。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 小面積の施設で冬期間の収入を確保できる菌床栽培への取り組みを支援することは、農林業の振興につながる。
コストの方向性	現状維持	(理由) 他の作物との繁忙期と重なる期間があるため、取り組み者の急増は見込めない。
今後の方向性	現状維持	(理由) 引き続き生産者の育成支援を図り、生産量の増加による農林業収入増を目指す。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	森林環境整備促進事業				事業通番	15556	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林経営管理法					
事務事業の概要	森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、森林所有者の経営管理意向調査や経営管理権の取りまとめにより森林整備計画を策定し、林業事業体に経営管理を委託することにより間伐などの森林整備を促進する。 【おもな取組】令和3年度は、旭三寄字箕作地区、赤留字中の山・佐賀瀬川字仏沢地区の計画作成と東尾岐北原地区、上平字下原地区の意向調査を進める。					
対象（誰、何を）	長期間森林整備が行われていない民有人工林					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な森林の経営管理計画が作成され、計画的な森林整備が実施される。					
成果の考え方	計画的な森林整備を町内民有人工林で展開することにより、森林の有する公益的・多面的機能の保全を図る。					
【成果指標】						単位
A	森林経営管理意向調査実施面積					ha
B	森林整備面積					ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	13,639				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	13,639				
一般財源	0				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	50				
	361.46				
B	14				
	0				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上平字下原地内外における意向調査(187.90ha)が完了した。</li> <li>・東尾岐字上向地内外における意向調査(173.56ha)が完了した。</li> <li>・旭三寄字仲山地内外における森林経営管理権集積計画(36.40ha)の作成が完了した。</li> <li>・赤留字向山地内外における森林経営管理権集積計画(94.56ha)の作成が完了した。</li> </ul>
成果	森林の有する公益的・多面的機能の保全を図るための計画的な森林整備を町内民有人工林で展開する準備を進めることができた。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 森林経営管理制度発足時(平成31年4月)に林野庁より「約10年程度で市町村内の対象森林について意向調査を完了するように」との指導もあったため、成果について更に拡充する必要がある。
コストの方向性	拡大	(理由) 森林経営管理制度を活用することによる計画的な森林整備の推進は国だけでなく森林整備の利活用を推進する本町の方針とも合致するものであり、更なる投資拡大による事業推進が求められる。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 森林経営管理制度の活用により計画的な森林整備を行い、森林の有する公益的・多面的機能の保全を図っていく必要がある。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	森林公園等管理事業				事業通番	16752	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林業振興施設費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	蓋沼森林公園、白鳳山公園、八木沢公園条例					
事務事業の概要	八木沢公園内にある遊具、健康増進用器具、東屋及び藤棚、芝草等の維持管理、仮設トイレの設置等の管理を行う。国の水源100選に選ばれており、自然に恵まれた蓋沼森林公園の維持管理及び宿泊施設の提供をしている。白鳳山公園内施設の維持管理（アスレチックなど）を行う。					
対象（誰、何を）	公園利用者					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公園を利用してもらい健康増進の契機としてもらう。					
成果の考え方	利用人数の増加。					
【成果指標】						単位
A	利用人数					人
B	-					-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	12,843				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	12,843				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2,500				
	13,930				
B	-				
	-				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	各公園の設備や遊具の点検を行うとともに、遊具やトイレなど9箇所の修繕等を行った。
成果	施設を快適に使用できるようになった。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) ホームページなどによる周知や、あらたな予約方法の導入などを行ったことで、利用者が増加し、自然保護の思想高揚と健康の増進を図ることができた。
コストの方向性	縮小	(理由) 指定管理制度などを検討することで、コストの低減を図る。
今後の方向性	効率性改善	(理由) 老朽化した施設が増加しており、維持費の増加が見込まれるが、必要最小限の修繕を行うなどし経費節減を進める。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	林道整備維持管理事業				事業通番	17443	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-2	施策名	林業の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	農林水産業費	担当係名	農林土木係
	項	林業費		目	林道整備費	重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	—					
事務事業の概要	<p>林業が魅力ある産業として成長するためには、森林資源の有効活用が必要である。そのためには森林資源の搬出コスト低減が必要であることから、林道の整備・維持管理を適正に行うことにより作業条件を向上させ、林業従事者の所得向上につなげる。</p> <p>【おもな取組】令和3年度は、「豊かな森林づくり事業」として、東尾岐地区の源田谷線の完了を目指すとともに、尾岐地区の大滝線支線の開設を進める。</p>					
対象（誰、何を）	<p>①既設林道 ②新設林道及び既設作業道</p>					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	<p>①安全に通行できる状態が保たれている ②新規林道については開設され、既設作業道においては改良が行われる</p>					
成果の考え方	<p>①林道を安全に通行できる状態に保つ ②新規路線開設や既設路線改良により、大型機械を使用した効率的な林業施業が可能となる森林面積を拡大させる</p>					
【成果指標】						単位
A 通行可能林道延長						m
B 林道密度						m/ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	81,927				
国庫支出金					
県支出金	49,432				
地方債					
その他					
一般財源	32,495				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	107,871				
	79,774				
B	5.73				
	5.68				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業専用道大滝線支線開設工事(2工区、1,120m)に着手した。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理作業の実施及び愛護団体への草刈業務委託などにより、林道の通行安全を確保した。</li> <li>林道開設工事の実施により効率的な森林整備施業に向けたインフラ整備に着手した。</li> </ul>

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 町内全ての森林資源の蓄積が多い箇所へ林道が行き渡っているとは言えない現状を鑑み、更に林道の新規開設を行う必要がある。
コストの方向性	拡大	(理由) 成果の向上のため、更なる投資が必要となる。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 事業展開の加速化により早期の成果向上を図り、有効性改善を目指す。